

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年07月13日

計画の名称	鎌ヶ谷市宅地耐震化推進事業（防災・安全）													
計画の期間	令和04年度～令和04年度（1年間）								重点配分対象の該当	○				
交付対象	鎌ヶ谷市													
計画の目標	大規模盛土造成地を把握し公表したマップに基づき箇所ごとの優先度を評価し、計画的に進めるための第二次スクリーニング計画を作成し、市の総合的な防災対策の推進を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		6	A	6	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 $C / (A + B + C + D)$	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	大規模盛土造成地（42箇所）の変動予測調査を行い、第二次スクリーニング計画を計画・公表し、地域住民の関心及び防災意識を高める。 対象地について、webページ等により住民への周知を100%にする。 公表箇所数 / 大規模盛土造成地箇所数	R4 0%	R4 %	R4未 100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	鎌ヶ谷市	直接	鎌ヶ谷市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第二次スクリーニング計画の 作成	鎌ヶ谷市						6	-		
											小計						6			
											合計						6			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 鎌ヶ谷市にて目標値の達成状況等を実施	事後評価の実施時期 令和5年7月
	公表の方法 市のホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模盛土造成地の優先度評価を完了した。 ・二次スクリーニングの計画を作成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
第二次スクリーニング計画に基づき、第二次スクリーニングを順次進めていく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%